



大正琴・ベル・朗読劇団

O E ♥ ハート

訪問ボランティア 通信 トピックス

本部より

活動が再開されますので
ボランティア保険に加入致します。
350円です。用紙を配布致しますので
宜しくお願い致します。

非常事態宣言が一応解除され、活動が再開の運びになりました。宣言中でも活動していたグループもありました。まだ休止している活動もあります。

ある高齢者施設の職員さんに現在の状況を伺いましたところ、「おかげさまで職員も入居者も感染者はおりませんが、ワクチンが広く行き渡って安心な状態になったら、是非おいで頂きたいと思っています。」とのことでした。

早く日常の日々に戻って欲しいものですね。今月はトピックスとして臨時に発行いたしました。

ひばりが丘小学校に朗読劇訪問いたしました(12年連続です)

1,2月に3回ワンハートさんにご来校頂き1年～6年、ひばり級が学年別に朗読劇を鑑賞しました。例年では視聴覚室で行っていましたが、間隔を取るために初めて体育館で行いました。朗読劇の後には、感情を込めての「読み方」の指導などもして頂き皆熱心に取り組んでいました。
(ひばり小日誌より抜粋)

ひばりが丘小学校訪問のコメント 海老名ボイスリーダー 岩崎純夫



寒い体育館での
公演風景



演じる方も鑑賞する方も
寒さが身にしみカタカタ



綾瀬の民話を熱意を
込めて演じました

昨年の初め頃からコロナウイルス感染が各国に拡大し、日本においても感染予防のため、人の集まるイベントや飲み会など活動自粛や制限があり、朗読の活動にも影響が出てきました。練習会場としていた施設の休館や例年実施していた福祉施設への訪問が中止となり、2020年の訪問は2月15日のひばりが丘小学校だけとなってしまいました。そして、今年2021年最初の訪問が偶然にも昨年と同じ2月15日で訪問先も同じひばりが丘小学校でした。1年前と違う状況はコロナ感染が拡大し、緊急事態宣言が発令されていたので学校側の対応も大変であったことが感じられました。まず、例年、視聴覚室で行っていたものを広い体育館に変更し、暖房装置がないため大型のヒーターを2台用意してありました。そして生徒さんには、マスクの着用は勿論、距離をとって座る指導を先生方がされていました。また、当日は雨で、雨音が強く後ろの方に座った生徒さんには、私達の声が聞き取りにくいようでした。

そんな環境の中で1年生・2年生・ひばり級それぞれを対象に3公演を行いました。公演内容は、朗読劇が各学年とも共通で「スイミー」と「じゅげむ」の2作品と歌・言葉やセリフのけいこ・おまつりなどを行いました。

公演後、生徒さんから感想文を頂きましたが、朗読劇の「スイミー」では、小さな魚が大きな魚を追い出したことに感動し、「じゅげむ」では、長い名前の話に面白さを感じた感想が多くあり大変好評でした。また、スキルの勉強では、元気な声で数え歌などを歌ったり、全体的には45分間を楽しんでくれたように感じました。

ただ、コロナ感染予防の為、視聴覚室の時のように生徒さんと身近に触れ合う事が出来ず、楽しさや喜びなどの感情を近くで強く感じ取れなかったのは残念です。

早く、コロナ感染が終息し、人々が自由に触れ合える社会に戻ることを祈るばかりです。

ひばりが丘小学校を訪問して 綾瀬ボイスリーダー 川島和子

コロナ禍の中でしたが、今年もひばりが丘小学校を1月25日(5・6年生)2月8日(3・4年生)の2日間訪問しました。今年はコロナの感染防止対策の為、密を避けて体育館で行いました。私達は舞台上でマスクとマウスシールドを着けての朗読劇。子ども達とはだいぶ距離があり、私達の声が届いているだろうかと不安を感じながらマイクの前に立っていましたが、真剣なまなざしで舞台を見つめる子ども達から今年も大きな力をもらいました。今回が最後の6年生は『よだかの星』がとても印象に残ったようでした。主人公の気持ちになって物語の世界に入っていた子が多かったように思います。一年に一度の触れ合いですが、その積み重ねは子ども達にも私達ボイスにも大きなものを残してくれているのだと思います。

コロナ禍の中でも「ぜひ来てください」と言ってくださった先生方に感謝です。子ども達の成長を見られるというのはとても嬉しいことですね。また来年の訪問が楽しみです。